



吉川市立東中学校 学校だより

あいさい

<https://www.yoshikawa.ed.jp/higashi-jh>

令和 7 年 11 月号

全校生徒数 290 名

〒342-0017

住所：吉川市上笹塚 3-104-1

TEL：048-982-0244



受け継がれる伝統とともに ～吉川市立東中学校66年の歴史～

吉川市立東中学校長 伊東 猛

2学期も後半に入り、行事の充実とともに、学習のまとめの時期となりました。それぞれの学年で学びの成果を実感する姿が見られます。小さな成長を積み重ねながら、一人一人確かな歩みを続けています。

さて、11月2日は、東中学校の開校記念日です。本校の開校は、昭和35年、旧旭村立旭中学校から改名した吉川町立北中学校と旧三輪野江村立三輪野江中学校から吉川町立南中学校分教場を経て改名した吉川町立東中学校が統合され吉川町立東中学校として発足し、今年度創立66周年を迎えました。統合時には生徒数656名、14学級、教職員数25名でスタートしました。

統合当時は、現在の東中学校の場所にまだ校舎が完成されていなかったことから、旧東中学校(吉川町大字加藤631番地)と旧北中学校(吉川町大字南広島1824番地)に分かれて分散授業を行っていたそうです。同年9月15日には、生徒及び保護者の応募作品の中から、当時3年生の飯島さんの作品が採用され校章が制定されました。校章の外郭の三角模様は吉川町章を表し、2本の山形は旭中学校と三輪野江中学校の2校が統合されたことを、中央の「東」は東中の2文字を兼ね、「中」を金色に浮かび上がらせています。これには、「光は東より輝く」ことを意味しているそうです。そして、昭和37年4月10日に現在の地に校舎が完成し落成式が行われました。その当時の様子を飯島さんは「三輪野江中から東中への引っ越しは、生徒が机やいすをリヤカーや手に持って、砂利道を歩いて運びました。制服は自由でしたが、女子は紺色のセーラー服を着ていました。卒業式は校庭で行われ、ほこりがすごかったことを覚えています。」と語っています。その後、昭和42年には体育館も完成し、段々と設備も整ってまいりました。そして、平成3年には現在の校舎が、平成10年3月には新体育館が完成し、その年の卒業証書授与式は新しい体育館で行われました。その後、平成30年の校舎大規模改修で教室の空調設備が整い、トイレも完全洋式化され現在に至っています。

開校記念日を迎える 11 月。学校の歴史を振り返ると、いつの時代にも挑戦し、成長し続ける先輩中学生たちの姿があったのだと思います。今の東中生もまた、新しい時代の中で、それぞれの可能性を伸ばしながら歩んでいます。伝統とはこのようにして受け継がれていくものなのだと感じます。先輩方が築いてきた伝統を大切にしながら、これからも生徒たちが安心して学び、成長できる学校であり続けたいと思います。



昭和 35 年 11 月 3 日撮影
(校舎建築予定地整地完了)



昭和 41 年 5 月 23 日撮影
(旧体育館工事着工)



昭和 54 年 11 月 2 日撮影
(開校 20 周年当時の校舎)